

＊感染症情報＊

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

耳下腺などの唾液腺が急に腫れてくることを特徴とする疾患です。

無菌性髄膜炎や難聴などの合併症もあり注意が必要です。また、成人で罹患すると精巣炎、卵巣炎などの合併があります。

流行性耳下腺炎（おたふくかぜとは）

- 1, 病原体・・・ムンプスウイルス
- 2, 潜伏期間・・・主に16～18日（12～25日）
- 3, 感染経路・・・咳やくしゃみから、ムンプスウイルスを吸い込んだり、手についたウイルスが口に入ることによって感染します。
- 4, 感染期間・・・耳下腺などの唾液腺が腫れる1～2日前から腫れて5日後までが最もウイルス排出量が多く、他への感染の可能性が高い。
- 5, 主な症状・・・発熱、唾液腺（耳下腺炎が最も多い）の腫れと痛みなどが出現します。左右とも腫れることが多いですが、一方だけしか腫れない場合もあります
食べ物を食べるときに痛みが出ることも多いです。
- 6, 予防・・・ワクチンによる予防は可能だが、発症しないということではなく無菌性髄膜炎や急性脳症の発症率が自然感染に比べて低い。
- 7, 登園の目安・・・唾液腺（耳下腺など）の腫れが出現してから5日を経過して全身状態が良好になったら登園するようにしましょう
（食事がいつも通り食べられるようになってから）
登園時は保護者記入の登園許可証を持参ください。